



子ども広場ができました

子どもたちの体力向上と健康維持を目的として、はなこみちの裏の敷地に子ども広場が建設されました。写真は職員と子どもたちが協力し合い、地面を整地している場面です。



丸紅基金様よりご支援いただき、防球ネットも設置しました。広場の使い方については子どもたちと話し合って決め、今後も子どもたちの言葉を聞きながら、また子ども達にも一部任せながら、安全に、有意義に活用していく予定です。



実習生さんの声 vol.1

はなこみちでは、2週間お世話になりました。初日から初めてやることだらけで、正直この先どうなるのか不安でした。それが2日、3日と過ぎてゆくと家事にも慣れ、子どもと関わることも多くなっていきました。子どもたちと一緒に遊んだり話したりしたことはもちろん楽しかったですが、最初は私から話しかけていたところが、子どもたちから話しかけてくれることが多くなったということが、私も子どもたちの生活の一部になれたと感じ、うれしかったです。(川口短大さん)



ボランティアさん インタビュー

Vol. 2 英語ボランティア



小杉さん

はなこみちの子どもたちに英語を教えさせて頂くようになり、早3年が過ぎようとしております。当初は幼児、小学生のみのレッスンでしたが、いつの間にか対象が中学生、高校生と増え、より深く、子どもたちと触れ合う時間を多く頂いております。

限られた学習時間の中で、多岐に亘り子どもたちやはなこみちから多くのことを学ばせて頂き心から感謝致しております。

これも偏に職員の方々子どもたち一人ひとりに対し日々優しく、温かく、時には厳しくどのような困難な状況でも見守ってらっしゃるからだと拝察しております。今後とも宜しくお願い致します。



<研修報告>

中堅職員研修 岡崎友美

中堅職員研修を終えて、退所児童に対し社会に出ても生活できるよう自立支援を促すと共にマナー等を伝えられる様に支援していく必要があると学びました。また、これから先多くの子ども達が施設を必要としてくると共に小規模化が進み、人材も確保しなければいけないが、人材の確保だけでなく育成も同時に行っていく必要があると感じました。

今後、職員の入れ替わりがある中で連携・情報の共有等をしっかりと行っていかなければならず、その為にも相談しやすい環境をつくっていく必要があると感じました。また、新任職員に業務を教えるにあたり言葉だけでは伝わらない場合があるので初めての事に関しては一緒に行っていく業務の重要性に関して伝えていきたいと思ひます。

クリスマス会

12月23日、施設の3階を使い、クリスマス会が開かれました。今年度のクリスマス会は、去年度までのやり方を変え、幅広い年齢層の児童全員が楽しめるように、年齢ごとに難易度設定をした様々なミニゲームを用意し、参加できる児童みんなで楽しく遊びました。大きい子たちも小さい子たちに交じって無邪気に遊ぶ姿があり、とても意外に思うと同時に、貴重な時間であったとも感じました。



おもちつきをしました!

お餅つきのぺったん、ぺったんという、うすときねの心地よい音が園内に響き渡る。

児童たちも、順番に餅つきに挑戦する。元気よく力いっぱいお餅をつく姿を見て、感動しました。出来たてのお餅に、きな粉やあんこ、からみ(大根おろし)をまぶして美味しく頂きました。今後、児童たちが困難な場面になった時、出来たてのお餅のように、粘り強い気持ちで立ち向かってほしいと思います。



卒業 おめでとう!

○子どもの声 (中学3年生)

私が中学1年生と2年生の途中まで全く勉強しなかった分まで学力検査までに勉強しなければいけなかったのがすごく大変でした。朝起きたらご飯を食べ、夜ごはんまで勉強して、ご飯のあとにまた勉強...という生活でした。勉強してる時に外から楽しそうな声が聞こえてくると、「私も遊びたいっ!」と思うけど我慢して頑張りました。



○幼稚園卒園

年度途中からの入園だったMちゃんですが、幼稚園に通い始めた頃から「楽しい」と言いながら元気に通園していました。慣れてくるとお友達もできて園庭で元気よく遊ぶことも増え、たくさんの思い出が作れました。

大好きな先生方ともお別れになった卒園です。4月からは小学1年生としての新たなスタート、出会いを心待ちにしているようです。

○高校卒業

今から三年前、特別支援学校の中でも狭き門である羽生ふじ高等学園に入学。T君は入学式で生徒代表挨拶を務めました。人とのコミュニケーションが苦手なT君でしたが、生徒会に入り、副会長、生徒会長を務めあげました。授業も部活も生徒会も、人の前に出る機会が多く、悩んで色々な壁にぶつかる事もありましたが、3年間でたくさんの人と出会い成長していきました。卒業式の後、お世話になった先生に対し自分の言葉で「ありがとうございました。お世話になりました」と伝える彼らの姿には、しっかりと3年間の”色々“が刻まれているのだと感じました。3年間の高校生活を見届け、さみしい気持ちもありますが、彼らの門出を嬉しく思っています。とても感動的な卒業式でした。



ユニットから



ぶちトマト(男子小規模)

主任 小久保 良

ぶちトマトユニットでは、高校3年の児童が2人、中学3年の児童が1人と卒業を迎える児童が3人いました。それぞれ、無事に進路も決まり、一安心です。ですが、高校3年の2人に関しては卒業するという事は、退所し自立しなければならぬという事になります。今まで7年一緒に生活してきた為、嬉しくもありますが、不安も多くあります。また寂しくもあります。しかし、退所は本人らにとってゴールではなく社会人として、大人としてのスタートになります。未来への大きな1歩として捉え、温かく見守っていきたくと思います。

職員としても、子どもの退所という節目に立ち合い、私自身ももっと成長し、子どもたち出来ることを増やしていきたいと思いました。この経験を元に、はなこみちの子どもたちが、はなこみちを自分たちの『家』と思って貰えるように日々精進していきたいと思いました。

かぶら(女子小規模)

保育士 中村 紗綾

新年度を目前とし、受験という大きな山を中学3年生が迎えている中、他児らもその児童に協力して動く姿がありました。特別な気遣いではなく、入浴の順番を配慮したり、集中できる空間に踏み入らない等、基本的な部分ではありましたが”さり気ない気遣い”が出来ており、そのことに個々の成長やユニットとしての協調性を感じることができました。今まで棘があり、思春期真っ盛りであった中学2年生もだいぶ丸くなり、年少児に対しても物言いが柔らかくなった変化も見られます。

また、かぶらでは4歳の入所児を新たに迎えました。新しい仲間の入所にどのような反応を示すか、こちらとしても気になる部分ではありましたが、柔和な態度と表情で今日まで継続して接することが出来ています。より一層のお姉さんぶりを発揮する児童、空回りする児童、ヤキモチを焼く児童等まさに十人十色、八人八色です。新年度に際し、気持ちを新たに、それぞれが進級・進学を控え、それぞれの思いを巡らせているかぶらユニットです。

そらまめ(男子ユニット)

指導員 佐藤 三恭

早春の霞たなびく西大沼の朝は行き交う人々の美しい挨拶から始まる。「おはよう」「おはようございます」「まだ、寒いね」「行ってらっしゃい」「行きます」。一列に登校する中の黄色いランドセルの少年も、もうすぐ二年生。そらまめ二人の一年生ももうすぐです。

中堅三年生になるミニバス児童、登校班の班長になる新六年生。テニス、バスケット、ラグビーに汗を流した中学生。勉強にバイトに、またある者はラグビー場を所狭しと駆け抜けた青春真っ只中の高校生たち、そして真新しい中学の制服に腕を通す一年生。その一人一人にジンチョウゲの香りと桜吹雪が待っている。

今日も元気な、そらまめです！

もろこし(女子ユニット)

主任 中村 佑也

今年度も流れるように一年が過ぎて行きました。流れるようにと感じているのは大人だけであり、子ども達は一日一日心身ともに成長をしています。もろこしユニットでは1名が受験生でした。大人「勉強をやりなよ！」子ども「やってるよ！」など様々なやり取りをして来ました。時にはぶつかり合う事もありました。そんなこんなを乗り越え無事高校受験も合格。安堵です。しかし、落ち着いている暇はありません。高校生になったらまたここからが彼女たちの始まりになります。大切な青春を悔いのない3年間にしてもらいたいと思っております。そのため、職員一同心身共に真剣に子ども達と向き合ってもらいたいです。

又、数年間一緒に過ごしてきた女の子が今年度いっぱい家で帰れる事になりました。今までママと一緒に生活出来なかった時間を少しずつ取り戻しながら幸せに暮らしてもらえたらと願っています

行事予定(3月・4月・5月)

【3月】

1日～2日	子どもの虹研修
2日	マイナンバー制度研修 公立高校入試
9日	法人役員会 職員会議
13日	消火避難訓練
15日	立正大学実習協議会
16日	中学校卒業式
17日	幼稚園卒園式
20日	春分の日
21日	振替休日
24日	小学校卒業式
30日	広報発行

【4月】

1日	新規採用職員等 辞令交付式
2日	消火避難訓練
上旬	新規採用職員研修
8日	小中学校入学式
13日	職員会議
19日	要保護児童対策協議会
4月25日	淑徳短大実習 (～5月7日)
29日	昭和の日

【5月】

3日	憲法記念日
4日	みどりの日
5日	こどもの日
上旬	サワガニ採り
7日	消火避難訓練
9日	成徳短大実習 (～21日)
17日	要保護児童対策協議会
18日	職員会議

ぬぬ 2 日



あなたも活動してみませんか ボランティアサークル 花小路 会員募集

児童養護施設はなこみちを支援するボランティアグループです。現在会員を募集しています。

- 活動内容** ①遊びボランティア ②学習支援ボランティア ③短期里親ボランティア
④お掃除お洗濯ボランティア ほか

報恩感謝 善意の寄付

セカンドハーベスト・ジャパン 様
毎日新聞東京社会事業団 様
埼玉県書店商業組合 様
一般財団法人 日本出版クラブ 様
有限会社 サンスマイル 様
大川原 美樹 様
アスカ深谷店 様
有限会社 ダスカジャパングアウテモック 様



(順不同)

いつも温かいご支援ありがとうございます。

災害時避難場所を提供！

緊急時は避難所として開放します。

- ① 防災倉庫
- ② 備蓄食糧(1000食)
- ③ テント(2張)・寝袋(10人分)
- ④ 地域交流センター解放



(スポーツ少年団・地域ボランティア団体へ開放・貸出をしています)

- ⑤ AED・チェーンソー等の機材

はなこみちでは、毎月消火訓練を実施し、万が一に備えています。

あんしん市民相談支援センター

これは、社会福祉法人の社会貢献事業として、施設独自の活動です。

相談者は、CSW(コミュニティー・ソーシャル・ワーカー)と称し、社会貢献活動支援員として、子育て、老人福祉、相続などの種々の困りごと相談に対応します。相談員は、各種相談ごとに精通した行政経験者である行政書士が問題解決の糸口を無料でアドバイスします。(相談は、事前に電話連絡をお願いします。 574-3146)

～編集後記～

3月 新しい年度に向かって一步を踏み出す大切な時…。はなこみちでも4月から社会人として船出する2人の子ども達があります。ぜひ自分の将来を真摯に見つめ、夢をもって社会の一員になってほしいと思います。また、4月から新たに小学校・中学校・高校にそれぞれ進学する子ども達があります。いままでとは全く違った環境の中で、当初は戸惑ったり不安になったりすると思いますが、そんな時には一人で悩まず、遠慮せずに施設の職員に相談してください。きっといい方法が見つかると思います。みんなガンバです。(柴崎)